

2023年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：2年探究C・グローバルスタディ

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な社会的課題とそれに取り組む団体・組織に関する知識を身に付ける ・国際的な社会的課題を考察できるように調査研究方法と語学力を高める <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題に対する自らの関心に気づく・問題を自分事にする ・多角的に国際的な社会問題を考察できるよう、批判的思考能力を高める ・学びの成果を社会に向けて発表する <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何」を「なぜ」探究したいのかを追求し、それをすることがどのように社会に貢献するのかを考える ・世界にある多様な価値観を尊重する ・直接の出会いの中から学ぶ・違いの中から学ぶことができる ・先人の歩み、先行研究から学ぶ、謙虚な姿勢を養い、知の集積を目指す 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①国際的な社会的課題やそれに取り組む組織について、自分の言葉で説明することができる ②調査・研究を行うための基本的リサーチメソッドを理解し、教員の補助の元それらを運用することができる ③海外の高校生と英語を用いて国際的な社会的課題について意見交換、質問、議論することができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①社会的課題について多角的・批判的な視点から捉える事を通して、自分の価値観を検証することができる ②国際的な社会的課題の解決方法について仮説を立て、調査を行い、検証することができる ③当該課題に向き合う中で、自分の取り組みや探究の成果について他者に発表することができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①世界の中に多様な価値観があることを受容し、自分がそれらにどう関わって生きていくのかを方向づけることができる ②世界の中の日本の位置づけを意識しながら、これまでに解決が困難だと考えられてきた国際的な社会的課題について自分が参画、貢献しようとする姿勢を持つことができる 	

授業日	5/9(火)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> ・「国際連合：その憲章と機構」を理解し、それについて自分の考えを表明し、他者と意見を共有する ・「国際の平和と安全」を理解し、それについて自分の考えを表明し、他者と意見を共有する ・Teams の効果的な使用法を理解し、使いこなせるようになる ・CNN ニュースを使用し、英語の発話活動を行い、発音、発話時間、内容、流暢さの評価を行う ・前回の授業、その後の課題によって深掘りされた研究調査の焦点を元に、共有の興味を持つ生徒同士が今後のリサーチのためにグルーピングを完成させる ・中間テスト以降にお迎えするゲストスピーカーについての情報と、その情報に対する反応をまとめ、当日の質疑応答に対するワークシートを完成させる 		
時間 授業内容	5 限	<ul style="list-style-type: none"> ・ Reading Group Discussion 2 (プレゼン、質疑応答、振り返り) ↑「国際連合：その憲章と機構」をテーマにした発表とディスカッション ・ Reading Group Discussion 3 (プレゼン、質疑応答、振り返り) ↑「国際平和と安全」をテーマにした発表とディスカッション 教員からのフィードバック内容確認 Teams の使用法の確認	
	6 限	<ul style="list-style-type: none"> ・ CNN English News 「Refugee Tally Exceeds 100 Million」を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。 ・これまでの研究に対する興味をまとめたシートを提示し、今後 2 年間の共同リサーチ班を決める活動 ・次回の特別講演者の方の Bio や受賞された賞を調べる。彼女の主張や行動より、賛同できるポイント、疑問に思うポイントを確認し、来ていただいた際に有意義なやり取りができるための準備のワークシートに取り組む。 	
評価方法	発表者 (発表スライド、発表資料、発表そのもの)、聴衆 (Worksheet Reflection Sheet 2 & 3), 全員 CNN English News Test 1: Timed Recording based on 3 criteria (Accuracy, Fluency, Phonological perspectives)		
宿題指示	次回の特別講演者に関する WorkSheet を 5 月 21 日までに提出する Reflection Sheet 2& 3 が終わっていない人は次週までに完成し、提出する		